

刊夕日七月四



定額一圓五角... 發行所 常警日新聞社

佛畫佛像私考

眞繼 雲山

古來文人派が好んで書いた佛畫として、最も多く壁間に飾られてゐるものは先づ達磨に、觀音に、澁いところでは十六羅漢に、山釋迦といつたところである。

その藝術的表現を對照とする場合には、價値の高いものから歓迎されるゆゑ、低いものは世に出でず、從つて造られないことになるのである。

單に藝術的な立場から見ても、繪畫としての『山釋迦の釋迦』は最も高き價値と深き意味とを有する、この故に古今の畫家が千種萬様の構想をこらし競ふてこれを寫してゐるのも面白い。

釋尊が王宮を脱出せられた年時には十九歳説と廿九歳説とがある。八十歳は大體その入滅時として動かないのであるから、十九歳出家、廿五歳成道とすれば一化五十五年となり、廿九歳出家、卅五歳成道とすれば一化五十年となり、尤も近頃の學者の研究では、十九歳出家として置いて、前半の六年は雪山において修行せられ、後半の六年は苦行林といはれる菩提

ノート

毛筆の生命は穂先にある、指頭で撫で廻して見て柔かくて、しかも力のあるのはよろしい。

道とすれば一化四十五年となる。學者の専門的研究は別問題とし、大づかみに一化五十年と見て大なる不都合はない。

これは佛ぞうには印相や持物など一定の法式といふものがあつて、無暗に好き放題なものをつたつたて大日様にも普賢様にもならぬさればとて古來の儀軌に則りてみると、表現された藝術的價値の上において釋尊ぞうや觀音ぞうは遙かに他の諸佛に比して群を抜いてゐることは、誰の眼にも映る、信仰は別問題として、

山で修行されたものといふ見かたもある。それは後にいたりて釋尊の友人といはれるの苦行者の内に、雪山

二明日の献立二

【朝】すまし汁、里芋、油揚げ

【晝】南蠻むし、魚南ばん

【晩】そば、そば、うすあんかけ

地方の婆羅門が少なからぬといふところに立論の根據がある、果たしてその苦行前後十二年でありしとすれば、ますます、以て敬仰の外はない。

當時の釋尊のお心もちを三千年後の私たちが凡人が考へみることも及びはないが、しかし御出家年時の何れでありしにせよ、王宮を脱出せらるゝときの釋尊のお心もちとしては、初めには御自身だけの出離解脱が目標であつたものと思はれる、王位を前にして宮殿に豪奢をきわめ、三千の美人を従へては見たが矢はり人並に生死をのがるゝことは出来ぬと知られたとき、我がたましいは何處より來り、何處へ去るのであるか、死とは如何、どうでも生死はまぬがれぬとなつたとき、王宮も美人もその願ひを叶へるべき何ものでもなかつた

であらう。ところがいよく菩提樹下に正覺を感じて、悟りを開かれてみると自分だけの悟りでは眞の悟りとはならぬ、一切を救ひつくさねば己れの眞の解脱は得られぬことになつた、そこに山釋迦が生れることになつたのである。

看護婦急派の求めに應じます 平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

特價一臺金參圓五拾錢 家庭裁縫の簡易化 一般家庭に於てミシンの便利重寶なる事は皆さんの御承知の通り其の需要を要求して

高級貸切 不二タクシー 電話 3 2

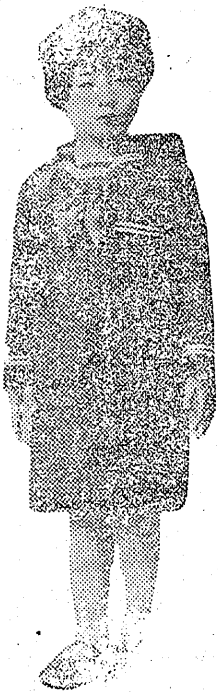
現出のンシミ國愛 石城郡下代理店 マルカ 店主 加藤 正保 電話 三二番

内外全科 醫學博士 渡部 義夫 小兒科 女 醫 渡部 きい子 平町田町大通り(電話二七七番) 入院應需 渡部 外科

横濱植木會社の 春蒔き草花種子が まいりました 種子は輸出向きの優良質 植木會社の特撰品です 二丁目 西村藥局種子部 (草花種子の蒔き方) 差上ます 球根、地根類の御注文も御受けし

第二小學校 制服

新學期も近づきました お嬢ちゃんの御通學に理想的な... 当店特製の第二校制服をお奨めします 生地、裁縫共に充分吟味して御座います 上紺サージ製(スカート共) 3圓60錢より



赤かや洋服店 平二 203 電

# 明日の消防幹部大會

## 犠牲的精神の涵養其他協議

既報平署管内消防幹部大會は八日十時より平署會議室にて左記順序にて開會

- 一、開會の辭
- 一、協會長之訓示
- 一、指示及注意事項
- 一、協議
- 一、建議案審議

等を協議するが當日の附議事項左の如くである

- △紀律訓練に關する件
- △消防組員の品性陶冶に關する件
- △火災豫防と警火思想喚起に關する件
- △組員詮衡に關する件
- △火災現場活動訓練と分擔嚴守の件
- △水利完備に關する件
- △林野火災豫防に關する件
- △組乃各部相互間連絡共助に關する件
- △警備費基本財産其他組の會計獨立に關する件
- △注意事項
- △應急準備に關する件
- △火災現場に於ける紛擾等注意の件
- △火災現場の飲酒注意の件
- △給貸用品使用保管に關する件
- △臺帳其他簿冊整理の件
- △消防自動車交通事故の件

止に關する件

- △三陸地方の震災に付義捐金を募集する事(小名濱町)
- △消防組に於て他優良組の消防視察に關する件(平窪村)
- △規律訓練の統一に關する件(好間村)

建議事項

## 磐女體育部

### 選手を決定

運動シーズンを迎へて

- 磐城高等女學校にては愈々運動シーズンを迎へて來る十日より水島、土岐、新妻、穴井、大内、菅波、小沼各係教諭コーチの下に練習を開始するが本年度に於ける各部の選手は左の如くである
- △陸上競技部
  - (一年) 福田千代子 鷺キ
  - (二年) 丸山八重子 阿部弘
  - (三年) 阿部良枝 唯野
  - 秀子 菜花トミヨ 鈴木
  - 玉枝 直井ユキ 杉田定
  - 子 鈴木きみ子 鈴木稀
  - 志子 野口佐多 大平久
  - 子(三年) 赤塚チヨ子 石島トミ 橋ヒサ 鈴木力
- △排球部
  - (二年) 小川うめ子 川島トメ 馬目ハツ子 中川ちよ 野口ユキ 青木好子 堂野喜美子 久田きみ 菊地シン(三年) 石澤サワ 田村十女 阿部綾子 河野イチ 大島幸子 安齊泰 大柴玉枝 白土智恵子 上遠野ミツオ 折笠浦子 小林文子 長野ノブ(四年) 白土喜恵 草野信子 吉田泰子 村上千枝子
- △排球部
  - (二年) 伊藤トシ 大平チウ 鈴木ヨシ 若松キミ 薄葉喜代子 藤田順 尾孝子 大平カツエ 小泉てう子(三年) 青木ミヨ 面川アサ 飯田カツ 田名網キミ 渡邊ツダ 渡邊キミ子 磯目ミヨ 鈴木タカ子 瓜田久子(四年) 柴崎雪江 飯田淑子 磯上チャウ 大河原トシ 安孫子ノブ 西山淑子
- △庭球部
  - (二年) 高橋和子 萩原次子 山崎キヨ 草野トシ
  - 子 大越アイ子 須藤俊
  - 子 鈴木キマ子 齊藤和子 熊安子 吉田チエ
  - 遊佐フチエ(三年) 佐川レ
  - ン 渡邊ミサ 渡邊コト
  - 大須賀キン 高橋百合
  - 蛭田ミドリ 佐藤美代子
  - 柏原和子 小高良子(四年) 前田シメユ 戸來綾子
- △籠球部
  - 子 齊藤幸子 山野邊松子 田村タキ 小林久子
  - (四年) 加藤菊枝 白井美江子 川島セツ

## 昨年遠慮したが 本年は大馬力

### 平營林署の製炭

平營林署の製炭數量は民業壓迫の聲に遠慮して幾分生産に手加減を加へた爲め昨年の上半期に於いて二割、下半期に於いて一割の減産を示し總數量四万六千俵であつたが價格の騰貴から金額は二万二千圓に上り前年と大差なく八年度に馬力を掛け六万俵を生産する豫定

### 慰勞金百圓

石城町村長支會では前小名濱長鈴木榮氏が多年支會副會長として盡力せる功に酬えん爲め近く慰勞金百圓を贈ると

## メートル法宣傳

平町の各關係者が 平署に參集打合せ

既報平町役場では來る十一日の度量衡記念日を期してメートル法實施の宣傳を行ふ爲め九日午前十時より平署會議室に平町メートル實施促進會其他の關係者參集宣傳の打合せをなすと

### 女子體操

縣女子師範學校に於て縣下女子中等學校體操科協議會が開かれるので磐城高女校から不校長及び永島教諭

が出席左記協議題及び談話題を提出すると

- △協議題
  - 健康生徒及選手權保持者に對する表彰の件
- △談話題
  - 一、異狀發育生徒に對する特別矯正指導を正課外に於て實施せらるる學校あらば承りたし
  - 二、公傷生徒に對する具體的慰問の方法を實施せらるる學校あらば承りたし
  - 三、体操科見學者を如何に取扱ふや承りたし

## 平商級長

本日決定す

平商業學校にては本日今學年度に於ける各學年の正副級長を左の如く決定した

- 一ノ乙松島精 添田將
- 一ノ甲長瀬泰輔 齊藤重雄
- 二ノ乙黒川壽三 金成新一郎
- 二ノ甲賀澤定男 佐藤久右衛門
- 三ノ乙齊藤一夫 内海實三
- ノ甲大高正己 岡田彦太郎
- 四ノ乙木田英夫 草野忠悟
- 四ノ甲木幡八十八 緑川泰次
- 五年四家肇 長瀬修二

## 草野推肥講演

石城郡草野村農會では十三日午前十時より同村泉崎佐藤政治方で推肥の實地指導講演會を催すと

## 高久苗代指導

石城郡高久村農會では九日午前十時より同村小學校に

て苗代實地指導講演會を行ふ事になつた

### 平職業紹介所報告

- △求人を求める方
  - △下駄見習工 十六才 高卒 仕着小遣(平町某)
  - △看板見習工 十六才 高卒 仕着小遣(平町某)
  - △染色見習工 十五才 尋卒 仕着小遣(平町某)
  - △店員 十六才 尋卒 給料面談(平町某)
- △回職を求める方
  - △商店配達 三十一才 高卒 給料面談(大野村某)
  - △書生 十七才 高卒 給料面談(茨城縣某)
  - △鐵工見習 十五才 高卒 給料面談(飯野村某)
  - △女中 二十八才 尋一修 給料面談(平町某)
  - △雜夫 二十四才 無學 給料面談(平町某)

## 平町人事

- △出生
  - △三丁目三九 小野麟太郎 氏三女マサ
  - △鎌田五二 小林初太郎氏 次女春子
- △回婚
  - △四丁目六關内仁平氏(二五) 石城郡小名濱町字定 西堀越シン(二二)

# 診療車活動

## 十日鹿島から

平署駐在巡回自動車診療班では去月未より八年度診療準備の爲め暫く休業中であつたが近く左記日割を以つて八年度第一回の診療に出發す  
四月十日鹿島 十一日箕輪 十二日永戸 十四日川部 十五日荷路夫 十六日貝泊 十七日石住 三十日川前

# 失業労働者の

## 捌け口心配に

### 青沼町長一行が 夏井の改修工事視察

平町匡救事業たる新川改修工事に従事した登録労働者四百餘名は七年度工事竣功と同時に其の日の生活に窮しつゝあるも町當局は八年度工事が目鼻の付かぬ處から一時の對策として公會堂敷地埋立及び夏井川の砂利揚げ運搬等に是等労働者を従事せしめその生活を支持して居たが一日の就業者數僅かに九十名に過ぎず多數の救済が困難な處から青沼町長は苦慮して此等失業労働者を縣警夏井川改修工事場に振向けんと本日町長外土木關係者は夏井村地内工事現場を視察し縣出張員と交渉する處があつた

小田吉次氏等が組織した郡出身兵慰問會では寄附金の總額五百八十四圓二錢を石城町村長會に寄附したので近く青沼支會長より謝状を贈ると

# 検事控訴の

## 傷害致死事件

### 原審通り懲役五年に

双葉郡上岡村土工吉田榮治(五〇)が離別した妻同村堀川(五〇)を痴情關係から昨年十月同村地内に於て毆打し瀕死の重傷を負はせた殺人未遂事件は過般平支部に於て検事の求刑七年に對し中島裁判長が五年を言渡し、たので検事の控訴となり宮城控訴院にて審理中の處被害者みづが死亡したので成

行を注日されて居た處此程公判開廷の結果傷害致死罪として原審通り懲役五年(検事の求刑十年)を言渡された

# 寄附金謝状

## 青沼町長から

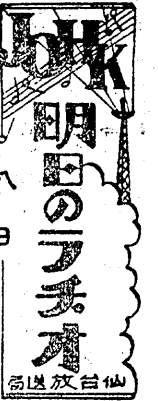
過般の滿洲事變に本郡出身兵慰問の爲め諸橋久太郎、

磐城高等女學校四年生は来る二十二日平發午前五時三

# 楽しい旅へ

## 磐城の修學旅行

十分にて各係教諭引卒の下に關西方面の修學旅行に出發するが日程は六泊七日歸



# 明日のラジオ

今晚も明日も北東の風晴曇半す

## 今晚の部

後六、〇〇(子供の時間) お話「菊地武光」志水三郎 後六、二五 講演 後七、三〇 時局特別講演 後八、〇〇「花と愛國の夕」(第七夜)新内 後八、三〇 ラヂオ風景 「花の博物館めぐり」園城

## 明日の部

前六、三〇 語學科外講座 「語學を勉強する人の爲

# 海軍ナイフで

## 胸部をグサリ

### 平署へ身元照會

石城郡小名濱町宇古港生れ當時茨城縣北相馬郡山王村木賃宿椎名桑方宿泊人目立職鈴木榮太郎(四〇)は去る四日同宿せる森隆一(三三)と泥酔の上口論の揚句海軍ナイフにて森の胸部を突き刺し瀕死の重傷を負はして取手署に檢舉された由にて本日平署に身元照會があつた

四ノ三龜山正邦 飯島登 司 五ノ一佐々木高滋 清水重政 五ノ二安藤破 魔夫 千葉道彦 五ノ三 木田菊壽 永山泰平 五ノ四小林靖 高階文三 六ノ一坂本行藏 小坂隆 道 六ノ二柴田讓 安齊 憲次郎 六ノ三伊關太郎 安齊光男 高一ノ一大越 元吉 鷲甚一 同二大森 文勝 吉田喜造 高二ノ一松崎康利 瀬戸利雄 同二和氣泰一 吉田政吉

## 正副級長決定

### 平署

一及び第二兩小學校にては本日各學年の正副級長を左の様にした

(第一)三ノ一小野晃平 酒井健 三ノ二鈴木滿男 藤田文朗 三ノ三岡田幸平 橋本壽 三ノ四石川 榮一 松本英一 四ノ一 三井真一 鈴木善彌 四ノ二正木秀夫 松本真平

# 橋本校長の送別會

## 九日夜住吉屋本店に

既報今回新潟縣高田師範學校長に榮轉せる橋本文壽氏の送別會は青沼町長及び學

郡夏井村中堅農民同窓會員三十餘名は来る九日午前十時より同村小學校に於いて中堅農民支部發會式を行ふ

# 裁判所だより

双葉郡龍田村大字井出字木屋四十三番地料理業小林榮次郎(五七)字谷地二十七番地僧侶酒主義寛(五八)字小屋百二十四番地木炭製造指導員鈴木良七(五七)字代三十二番地魚行商野崎ツル(五七)同所十一番地農草野治三郎(五七)字小田十八番地渡邊ナヲ(五七)の六名は去月三日被告入榮治郎方に於て三回に亘り骨牌使用の賭博罪として良七は罰金四十圓、他は全部罰金二十圓宛に本日各平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

# 夏井消防組頭

石城郡夏井村消防組頭高木泰造氏が辭任した後任として庄司千代壽氏が本日任命された

# 夏井農民支部

石城郡夏井村中堅農民同窓會員三十餘名は来る九日午前十時より同村小學校に於いて中堅農民支部發會式を行ふ

# 幕末剣士

【禁演上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演  
近藤 紫雲 畫  
佐々木 見山

第三百九號

見山お袖を救ふ

佐々木寅之助見山は茂庭治郎右衛門の僕の松藏を供にして赤羽根の有馬家に行かん、金杉橋まで来た、その折フツ目についたは女が一人橋の欄干へ身を凭せて川をデット見て居る、やがて飛込まんとするに驚いた見山、待てといつたところ

でこの場合は止まらない、小柄をバツと飛ばすと衣類の袖をズバリと欄干へ縫ひつけた、これがために身を投げる事が出来ない、かくと見るより見山はバタバタと駆け行き小手を押へて佐「コレ待て、エイト待てと申すに、オウまだ若い女だナ、コレ何で死ぬと決心したか定めしそれには仔細もあらうがそれを申せ」

女「御親切は有難い事でございますが死なねばならぬものでございます、お慈悲をもちましてお見のがし下さいまし」

佐「コレ何を申す、慈悲を以て人を殺すことが出来るか、コレ待てといふに」

手を押へつけられたこと、出て女は身を動かすことも出来ない、それには袖を縫ひつけられてゐる、とこゝへ



来た松藏  
松「オイ姐さん、どんな理窟があるか知らねえが身を投げて死なうとは短氣な事だ、大方思つた男に添はれぬか、其人がおめえを袖にした爲に身を投げて死に幽

霊になつて祟るつもりか死んだ先はわからねえ、怨みがあるなら生きてゐる内に祟るがよい」

女「イエそのやうな浮いた事ではございません」

松「それではおめえの氣に叶らぬ者を婿に取れと親

云つたか」

女「そんな事でもございませぬ、どうしても生きてゐる事のならぬ身でございませぬ」

松「さうか、モシ旦那こんなわからねえ女はございませぬ、親切に助けて遣つたを有難いとも思はず死ななければならぬ身だ殺してくれと云ひます、これ程命の要らぬ奴を助けるのはむだな事だ、此處から投げ込んでやりませう、今は引潮だ忽ち海へ流れ込み魚の餌食になりませう」

佐「そのやうな事はならぬ

コレ女見受けた處町等に育ちしものではあるまい、何れの藩士の娘かそれとも直參か」

女「わたくしは有馬様の家來で松崎采女と申す者の妹でございます」

佐「ナニ、有馬家の藩士松

崎の妹か、俺は佐々木見山と申し有馬侯の家老吉田織部どのの許には親しく出入りをいたし今宵もこれより吉田どのへ參る處であるがその有馬家の藩士の妹を助けたは之も何かの因縁であらうか、どういふ事から死なんと覺悟したかそれを話さない、拙者の力にて出来る事ならば其難儀を逃れる様に致し遣はす」

女「有難い事にございませぬ、左様ならばお話致します」

佐「待て、この橋の上でその事情を聞く事も出来まい、往來の者に見られるとお互に迷惑いたす、吉田殿の許にて承ることにいたす」

女「左様ならばお供をいたします」

佐「松藏、この娘は有馬侯家來の由」

松「へエさうで御座いますか、あなたが助けたはこれは神様のした事でございませう、有馬様に祀つてある水天宮様がした事でございませう、一體水天宮様の氏子でありながら水で死なうとは了見違ひ、姐さん佐々木先生と御一緒に行くがよい」

佐「待て、その袖に小柄を縫付けてある」

と云ひつゝそれを引抜いたが之を見て女はびつくりした、飛込まうとした時に袖を押へられたと思つたがさては小柄にて縫付けられたかと初めてこれがわかつた、松藏も驚き

松「旦那は器用な事をなさ

いますナ、こいつを覺えてゐると便利でございますね、さあ姐さん出掛けやう、定めしおまへさんの身にはしよいされねえ程の理由があるに違えねえ、どうで有馬様の水天宮いやに成田の不動尊といふしやれがある」

佐「餘計な事を申すな、ソレ同道いたせ」

とこの女をつれて有馬侯の家老吉田織部の許へ來ました

いますナ、こいつを覺えてゐると便利でございますね、さあ姐さん出掛けやう、定めしおまへさんの身にはしよいされねえ程の理由があるに違えねえ、どうで有馬様の水天宮いやに成田の不動尊といふしやれがある」

佐「餘計な事を申すな、ソレ同道いたせ」

とこの女をつれて有馬侯の家老吉田織部の許へ來ました

御用命は總て印刷物の  
常磐日毎印刷株式會社  
電話三六〇番

**梅毒** 淋病 皮膚病 婦人病  
**林病** 腸胃病 腸胃病 腸胃病  
門專 院醫科 院醫科  
電話一七〇

**高久病院**

院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

平町田町 電話五一三番

御贈答に  
記念品に  
諸景品に

漆器を!!!

誠實勉強 親切第一 在庫豊富

是非御用命を  
ドコヨリモ、ヨイシナラ、ドコヨリモ、ヤスクウ  
ル、又リモノミセ  
平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)

各國産漆器 専門卸小賣  
漆器店

店員募集 十三四才位 小 店員  
三十才迄位 外 交員

**中村齒科醫院**

平町 鍛冶町七

櫻の節も愈々近づきました

店頭...店内...の裝飾に

最新形の提灯を御利用下さい

電燈等用櫻花コード付 提灯 一ヶ 三十五錢  
櫻模 様付 角形 提灯 〃 三十八錢  
櫻模 様 ハード形 提灯 〃 三十錢  
櫻模 様 中 柳 提灯 〃 二十五錢

**スガノヤ提灯店**

電話九五番